

会 議 録

会議の名称	第3回本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会
開催日時	令和7年2月25日（火） 午前・午後3時30分から 午前・午後4時40分まで
開催場所	本庄市役所 504会議室
出席者	下野戸教育長、笠原事務局長、飯島本庄東中学校長、櫻井本庄西中学校長、山崎本庄南中学校長、瀧澤児玉中学校長、岩崎本庄市スポーツ協会会長、高橋本庄市スポーツ少年団本部長、櫻井指導主事、西田学校教育課長、原生涯学習課長、松澤生涯学習課課長補佐、新井スポーツ推進課課長補佐、各学校部活動顧問代表
欠席者	市川本庄市文化団体連合会長
議題 （次第）	・ 県の動向 ・ 令和7年度本市の取組
配付資料	・ 次第 ・ 本庄市の取組
その他特記事項	今回の会議には、各中学校より部活動の顧問をしている教員も出席した。
主管課	学校教育課

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
開会	学校教育課櫻井指導主事
挨拶	下野戸教育長
議事	これより下野戸教育長議事進行。 ・ 県の動向について、事務局より説明を求める。
櫻井指導主事	2月14日に県で行われた令和6年度地域部活動にかかる実証事業報告会及び研修会について、スライドを用いて説明。 ◎県内の取組状況 オレンジ色は、令和6年度実証事業を行っている市町。 運動部12、文化部3、主に運動部。 令和7年度では、さらに拡大していく予定。 埼玉県の実証事業として推進計画を策定し、令和5年度から7年度にかけて、国に合わせて行っている。次期の計画は、前期（8～10年）、後期（11

	～１３年）に分かれている。この期間に、全部移行するという話ではなく、その期間内にできるだけ移行していくということ。 ◎埼玉県による市町村の取組への支援について ・人材バンク設立（１１月頃）対象は、教員又は退職教員 ・教員の兼職兼業の整備、 ・シンポジウム、リーフレットの作成 熊谷市、深谷市では、令和５年度から実証事業に取り組んでいる。 ◎先進地の取組として、新潟県での視察事例について報告があった。後日、ホームページに掲載するとのことだが、まだ掲載されていなかった。 新潟県では、令和５年度からスタート、令和７年度で休日の部活動の地域移行の完了を目指している。新潟県が主導で、市町に専門の担当者を配置している。実際に行った指導主事から魚沼市や長岡市を視察した担当者からの情報を聞いた。 魚沼市は、令和４年度から退職校長１名を市教委で専属に担当している。その他、会計年度任用職員を２名の合計３名体制とのこと。 長岡市は、詳しい人数は聞いていないが、新潟県全体でそのような形で進めているとのこと。長岡市では、地域移行の中で課題になっている大会の参加について、中体連の大会に参加するには、地域クラブへの加入が必須条件となっているとのこと。新潟県では、令和７年度で地域移行が完了しなかったところは、令和８年度のいつ移行が完了するのか、踏み込んだ計画を全部出させる、ということだった。全体的に移行が進んでいると聞いている。 １つ注目する点として書いた、部活動の枠組みに外れる、また部活動がなくなるというマイナスのイメージを持つ方もいると思うが、逆に競技人口を増やすチャンスになるという声も聞いている。このような、新潟県の取組は、参考になると思われるので、情報が入れば参考にしていきたいと考えている。 ◎続いて、近隣の状況について、熊谷市と深谷市が実証事業をしているので伺った。 熊谷市は、「地域連携熊谷モデル」としており、令和５年度では陸上部、剣道部、これに加えて令和６年度は、ラグビー部が地域クラブとして活動している。 対象：市内全ての中学生に案内。 参加費：不要。 ラグビー部には経験者だけでなく、未経験の生徒も来ていると聞いている。市内全体で２００名が参加。このうち、半数がラグビー部とのこと。
--	---

	指導者は、教員がメイン。外部指導者としてラグビーは、大学生もいるとのこと。 活動場所は市内の協力校。拠点校として剣道をやるならこの学校、陸上をやるならこの学校、ラグビーをやるならこの学校に来てという提案で実施しているとのこと。送迎については、保護者の責任で現地集合・解散とのこと。 深谷市は、熊谷市と違って学校単位で行っており、令和5年度は、卓球、剣道、ラグビーを実施し、〇〇中卓球部、〇〇中剣道部というくくりで、週末のみ地域クラブでの活動としている。 令和6年度にはバドミントン部と男子ソフトテニス部がそこに加わり、全部で5つの部活動が学校単位で活動している。生徒は全部で50名程度、令和5年度保険代のみ徴収、令和6年度は参加費用で200円を徴収しており、指導者は、教員、外部指導者が中心だが、スポーツ団体からも来ている。 活動場所は、基本的には学校のグラウンドや体育館を利用しているとのこと。 秩父地区は、広域的に進めるとのことで、具体的には決まっていない。現在、協議会を開いて検討しているとのこと。 目標としては令和10年度くらいまでに、休日の学校部活動を可能な範囲で移行したいと考えている。 令和7年度実証事業として、本庄市と近隣の寄居町が参加予定となっている。 先進地の視察により、このような情報提供を受けたが、まだまだ未確定の部分もあり議論が必要と感じた。当日は、協議会のアドバイザーである立教大学の二宮教授の講義もあった。 その話しの中で、部活動のイメージはできているが、地域クラブはイメージができない、という部分が難しく対話が必要ということ。本庄児玉郡市でも協議会はこれからがほとんどで部活動指導は行っているが、具体的なことはこれから検討するということだった。
下野戸教育長	説明を受けた内容について、質問をどうぞ。
高橋スポーツ少年団本部長	本庄市において地域クラブの定義は、指導員が何名いるとか、決まっていないと思うが、どうようになるか分かる範囲で教えて頂きたい。
下野戸教育長	回答は可能か。
櫻井指導主事	まだ、どの地域も曖昧で定義付けができていないところがある。進んでいるところはホームページで明確になっているところもあり、本庄市としても、何をもって地域クラブとするのかもっと詰めていかなければならない。来年度については、資料の収集を中心にやっていくので、ただ教育委員会と

	して認めている地域クラブを明確にしないといけないと考えている。現時点で、こういうクラブ…というのが明確に定まっていないのが今の状況である。
下野戸教育長	地域クラブでの活動をイメージできないというのが一番の課題と考えている。
櫻井本庄西中学校長	最終的には、中体連の大会参加が可能かどうかといった部分にかかってくることになるだろうと考えている。本市の場合、土日の週休日の先生の働き方改革もあって、顧問の先生ではなく、週休日の指導を教育委員会で謝金を用意して、市として地域クラブの指導者として認めてもらい、その方が指導することになる。
櫻井指導主事	現時点で、来年度やる取組については、頂いたご意見の通り。
櫻井本庄西中学校長	地域クラブの定義としては、生徒に教える指導者は埼玉県の中体連専門部が出している国の指導者資格を最低一人持っていないと、地域クラブとして認められない…というのがある。地域クラブとして中体連に参加するのは、すごくハードルが高く、まずは指導者について中学校の教員や本庄市が雇って会計年度任用職員として人材バンクに登録した人が、土日の部活動について、地域クラブとして見てもらうのが第1段階と考えている。
櫻井指導主事	第1段階として、会計年度任用職員ではないですが、まずはやってみてどうなるか。継続してやっていくことが可能かが重要だと考える。
櫻井本庄西中学校長	地域クラブだと、中体連の大会に出るのはハードルが高い。中体連も合同部活動を認めているということがある。あくまでも指導を教員から切り離すということ。
下野戸教育長	そうなると長岡市は高いハードルをクリアしている、ということか。
櫻井本庄西中学校長	地域のクラブに所属はするが、大会への出場は学校からとなるか。
櫻井指導主事	そこまで詳細の話は、聞けなかった。
櫻井本庄西中学校長	たぶん、ソフトテニス、野球のクラブなど、いくつかの地域クラブを市内に立ち上げていると思われる。全部の学校の生徒達が来るとなると、選抜チームを作ることになるので、それは認められない。学校単位で練習等は地域クラブでやって、大会は各学校がメインになる。そうしないと、大会の引率・運営をする人がいない。学校の先生は、各学校で参加し、運営は学校の先生で行う。要するに、練習は地域クラブに必ず所属してやるという形ですね。中体連の郡市の大会、県大会もすべて運営ができなくなってしまう。
下野戸教育長	そのほか、いかがですか？ もう一つ、事務局より説明がありますので、そのあとにでも質問を受け付けます。

下野戸教育長	(2) 令和7年度 本庄市においての取組について説明を求めます。
櫻井指導主事	令和7年度の取組ということで、説明をします。正式に、地域スポーツクラブ体験活動事業（実証事業）に参加申し込みをしました。 概要は、次のとおりです。 実施主体・・・本庄市教育委員会。 対象・・・各学校における休日の部活動。 各中学校・・・1クラブ活動の合計4部活動です。正式決定は、年度変わって、来年度当初の予定です。 対象生徒は、現時点では各学校の生徒又は市内全域の生徒を検討しております。 実施時期は、夏頃から2月、3月までで計画書を提出しました。県から補助の関係で、少し日程など検討したほうがいいと要望しています 参加費用・・・令和7年度は、全て県の補助と市からの負担で、子どもの負担はなし。 指導者は、教員現職の中から希望する者もいると思われるので、希望者も含めて一般の方も含めて考えております。 保険は、指導者の保険も含めて加入します。 指導者への謝金・・・1時間2,000円くらい。実際は、部活動ガイドラインに沿って週末3時間で、6,000円を考えています。根拠は、部活動指導員、講師と合わせて4名が現在いるため、補助上限、時給1,600円に交通費を含めて時給2,000円が妥当と考えました。 連絡調整役のコーディネーターは1年間で任期と考えており、実証事業の費用の内6割程度は、国・県の補助と考えています。 教育委員会、地域クラブ、学校の3者があり、それをコーディネーターがつなぐ形になると思います。 具体的なスケジュールはまだ流動的なところもありますが、年度が切り替わったところで各中学校から、どの部活動を実証事業の対象にするかを聞きます。その状況を協議会に報告させて頂き、その後、指導者の募集・決定・説明会となります。8月くらいから週末のみ、地域クラブの活動ができればと考えています。12月から1月の間には実証事業を終了し、その後のアンケート調査の実施などを考えております。県との調整により、日程の変更もあり得ますが、大まかな予定としてはこういった状況です。 現時点では、人事異動などがありますが、学校などの希望は協議会の中でも聞いた方がいいということもあり、今のところこういった部活動が良さそうか…とか、こんなことで悩んでいます…とかの情報を聞かせてもらえれば

	と思っています。 あとは、対象生徒は枠にとらわれずに全中学生を対象とした方がよいのか、自分の学校の部活動を週末に地域でやってみるとか、など率直なご意見を聞かせて頂けたらと考えています。まだまだ、いろいろなことが決まっていまないので、あれはどう？これはどう？というのがあると思いますが、ご意見を頂けたらと思います。
下野戸教育長	はい、ありがとうございます。来年度スケジュールなどの説明ですが、これについて何かあればお願いします。
瀧澤児玉中学校長	今の実証事業についてですが、年度の途中から途中までとなりますが、子どもたちには、違いがないイメージですがそのように捉えていいのでしょうか？対象を市内全体とするか、学校単位とするか、どちらとなるのかによっても違うと思いますが、学校で一つの部活でやれば今の感じかなと思いますが、主体が変わり指導者が変わり、謝金が変わりとなりますが、子どもたちにとってはチームも同じで、ただ練習内容が変わるかなと思います。対象によって、大きな違いになると思いますが。
櫻井指導主事	初めはできる形で、実施することを考えております。対象の部活動について、普段は顧問の先生が見る形になりますが、実証事業を行っている間は顧問の先生の他にも、外部の人を含めて他の人も入ってくる可能性があるもので、その違いはあります。それはそれで、1つのやり方として良いのかなと、そういった方法も含めて、様々なやり方を試していったほうが実証事業としては良いのではないのでしょうか？地域クラブとしての見通しを持つうえでは、そうした方がいいかと思う部分と、子どもたちが今までの活動とギャップが大きくなる部分と両面があると思います。 実際に、熊谷市は全中学生を対象にしているので、練習メニューは普段とは違い基礎的なものを中心にとか、楽しさをメインにやっていると聞いています。
櫻井本庄西中学校長	熊谷市では、ラグビーとか地域クラブでやっているときは、当然、自分の学校ではやらないということですね。ある程度の活動は、平日のみということですね。例えば、ラグビーなら熊谷市の学校に部活動としてやっているところとやっていない学校があり、やっていない学校の生徒はそこに行っていないかもしれないけど、自分の学校にチームがある場合に、地域クラブに行くか行かないかは本人の意思でいいのか？
櫻井指導主事	詳細は聞いていませんが、学校と地域クラブが協力体制をとっているようです。熊谷市のラグビーの場合は、指導者の数も多くほとんど今の顧問が地域クラブにも出向いて合同で行っているようなイメージです。

櫻井本庄西中学校長	ほとんどが各学校で人数が揃わないので、多分、それに乗っかっちゃいましょうということなんだと思います。ただ、各学校で人数が揃うのならば、それをやると迷惑な話になるから、あくまでもどっちに参加するかは、広い範囲で行うにしても自由にするところをも残さないと困るし、あと熊谷市とか深谷市は陸上やラグビーがある学校が少ないし、あっても選手が少ない。本庄市で試合をやるときに、地域クラブでは一緒に活動しているのに、地区大会では当たるので、そういうところも影響してくるからギャップを少なくするという点から考えると、先の事はともかく、まずは学校単位でスタートするのが良いのかなと考えます。
下野戸教育長	他にどうでしょうか？
山崎本庄南中学校長	はい、うがった言い方かもしれませんが。本庄市の平成30年のクラブ活動の活動方針についての説明があり、子どもたちから見ると普段と同じように部活動をやっているのに先生ではなく外部指導者が指導している、土日と同じように部活動をやられると先生も出ることになり、方針では、本来は先生の休養日を取りなさいと言っていますが、方針に示されていることが崩れたりしませんか。休養日を1日取れるのか、外部指導員が出るなら、先生も出ることになるけど、休みもとらないといけない。先生自身の子どもが小さいとか、いろいろあっても指導に出なければならないと、出ることになりますよね。
櫻井指導主事	これは、地域クラブの定義に関わることですが、本庄市教育委員会として主催していく地域クラブは、学校部活動と地域クラブ活動とで、土曜日は部活をやりました、日曜日は地域クラブでやりました、これは×で、どちらかの活動にしてください…ということです。これは、県内で実証事業を行っているところは、全て同じ条件です。学校の部活動がない状態で、土日どちらか地域クラブで活動をする、もしくは学校で部活動をする、というように土日のどちらかに休養日を設けなければいけないというガイドライン通りです。
下野戸教育長	その他いかがでしょうか？各学校、来年度は、何となくこの部活で行こうかなというのがあれば、教えて頂けると助かります。
飯島本庄東中学校長	うちの方は剣道部かな。指導者が見つからず、これまで剣道経験者の方が指導しているため。
下野戸教育長	全然、競技ができない方が顧問になったとしても、休日のときは、その指導者に見てもらおうということですね。西中はどうですか。
櫻井本庄西中学校長	うちはなかなか決めがたい。全然いないか、いるか、どちらにしても難しいです。

様 式

下野戸教育長	南中はどうですか。
山崎本庄南中学校長	今年度、部活指導員として体操部、柔道部に来ているので、そのどちらかの部活動を検討しています。
下野戸教育長	児玉中はどうですか。
瀧澤児玉中学校長	児玉中も、専門員や外部指導員となると、体操になるのかなと考えています。部活動指導員を昨年やっていて、今年は外部指導者に戻した経緯があり、そういった人間的なバランスもあるかなと考えています。それから先日、女子バレーボール部の外部指導者の方より、「地域移行を見据えてもう少し関わっていきたい。もし、チャンスがあるなら頑張りたい。」と伺ったので、そちらも一つ候補になるかというところです。
下野戸教育長	ある程度の希望をしている部活動もあるが、地域移行といった点では、まだまだということですね。人事異動とかもあるので、様子がわからないところもある。あと、スタートとしてはやはり各学校単位の方が良いかなと、事務局の方は市内全体でのスタートをした方がいいという意見もありますが、やはり最初は、学校単位からという感じですかね。いやいや、そうではなくて、という他のご意見があればお願いします。
瀧澤児玉中学校長	体操部とかは、枠をとっぱらって指導者が複数の目で、見られるのもいいのかなと感じるところもあります。
飯島本庄東中学校長	柔道とか個人のスポーツで、うちの学校の部活は結構強い方でもあるので、人数的なことも考える必要があるのかなと、球技とか人数が集まる種目で、人数が集まったけど場所がないとかの問題が出てくるので、その辺りのご意見を各学校のから頂いて調整していく必要があると感じる。
櫻井指導主事	それぞれの競技において、様々な課題がある。貴重なご意見を頂いたなと感じます。熊谷で聞いたのは、剣道の部活動で、顧問の先生が専門家ではなかった時に、活動場所を地域に広げてくれたほうが、週末の部活動をお休みにするので、地域の指導者に見てもらってくださいと案内したところ、実際に指導を受けて子ども達も良かった…という感想も持っているようです。そう考えると良い点もあるのかなと感じたところです。
下野戸教育長	せっかく来ていただいたので、まだご意見を頂いていない先生方に、ご発言を頂いてもよろしいでしょうか。
西中学校顧問代表	中学校のサッカー部（本庄西、児玉、本庄第一）の3学校合わせて合計13名という現状です。人数を確保するために、南中みたいに人数がいるところは良いかなと感じますが、合同チームよりは、クラブチームとしてやらせていただいたほうが、良いかなと感じます。野球も、人数が9名、10名、11名など、多ければ多いほどいいわけですから。

教育長	競技の特徴、指導という面でも検討が必要ということですね。南中の先生もどうぞ。
南中顧問代表	質問でもいいですか。この実証事業に関して、来年度うちでいえば体操部かなと思うのですが、1つ目として、例えば来年度1年間実験的にやって、その次の年は地域に移行していくという予定でしょうか？それとも実験的にやってみたが、合わないのでまた戻します、ということで大丈夫なのでしょうか。 2つ目として、段階的に行っていくと思うのですが、なかなか予測は立てづらいと思いますが、本庄市はどのくらいの期間で完全に地域に移行することを考えていますか？ 3つ目として、現状は休日の部活動を、地域クラブへの活動に移行していくということですが、最終的には平日の部活動も地域に移行していくということでしょうか？その3点について、分かる範囲で良いので教えてください。
櫻井指導主事	まず1つ目ですが、来年度に実証事業をやるが、その後どうなるかについての質問ですが、それに関しては、まだ不明な部分があります。本庄市では来年度、実証事業を実施して、今後も継続的な導入を見据えております。ただ、国や県が行っている実証事業は分からない状況で、見通しが持てない部分であります。実証事業をやってみた結果を見て、もっとこういう風に改善した方がいい、ああした方がいいといった形で、今後のやり方を模索しているよう形であると考えています。 2つ目の段階的にということですが、埼玉県は令和10年までに可能な限り…という目標ですので、どこまで導入できるのかというところはあります。お金のことも、大きな問題でありますので、今回は無料で行うのですが、ずっと無料で出来るのか、そういった点も含めて、今後も変わってくると思われます。 3つ目の最終的に平日も移行するのかという点についても、国がどういった形で進めていくのかによって変わってくるものと思われます。今後、学校部活動がどうなっていくのか、という大きな問題に関わってくことで、国や県からも明確なビジョンが提示されていませので、今の時点で明確にお答えすることは出来ません。 3点とも明確に答えることが出来ず、申し訳ありません。
下野戸教育長	児玉中の先生はどうですか。
児玉中顧問代表	もう二人の先生が全部聞いてくれましたのでいいです。
下野戸教育長	運動部のことが中心ですが、文化部について、前回、話題になったのが、

	地域移行というと学校から地域に移行していかなければならないというと、すごくハードルが高いな、という話題が出たかなと思います。 たとえば、上尾市とか白岡市とか、今までに無いダンス部のような部活動を立ち上げてみたりなどの発想もありました。それは地域移行ではないのではという声もありましたが、やはり、そういう文化部ならではの発想もいいとも思いますが、皆さんはいかがでしょうか。
櫻井指導主事	ちなみに、ある民間の団体からは、ボーリングの活動とかどうですか？というお話もあるそうです。色々なところに声をかけてみているようですが。新しい種目を取り入れてみてはどうですか、という意見もあるのかなと思っております。
下野戸教育長	どうですか、(1)、(2)とありますけど。全般、今思っていることやご意見などあればどうぞ。
高橋スポーツ少年団本部長	今の話で、小学生の時に活動していた種目が、中学に部活が無くてやめてしまうケースなどが見受けられます。スポ少の活動は、小学生の時から始めて、中高も続けて行ってもらいたいというのが、主な目的です。協力をしたという団もあるので、協議会に対して勝手なお願いになりますが、相談窓口を作ってもらえれば、スポ少指導者は資格をもっていますので、お手伝い出来る部分があると思っています。スポーツ少年団の考えが地域に根差したものですから、地域の子ども達が困っているなら、そのお手伝いができればと思っています。その為に、ぜひ相談窓口を作っていただければと考えています。
下野戸教育長	コーディネーターのような形に近いと思われますが、どうですかね。
櫻井指導主事	スポ少の指導者に、そこまでお願いできるか検討が必要かと思います。
下野戸教育長	ご意見として、その他にはどうですか、せっかく来て頂いているので、ご意見があったらお願いします。
南中顧問代表	地域クラブに指導者の人数はどのような基準になる予定ですか。陸上部の指導をしています。1名なのか多数なのかで全然違ってくると思うのですが、どうでしょうか。
櫻井指導主事	予算案では1地域クラブに2名で指導してもらう予定です。
下野戸教育長	順序として、各学校から出てきた希望のある部活動の、運動部なら競技との調整でしょうか。その他はいかがでしょうか。 ご意見が出尽くしたようなので、事務局に返します。
櫻井指導主事	ありがとうございます。貴重なご意見をありがとうございます。これからも、本庄市の実情にあった学校部活動及び地域クラブ活動について整備を行いたいと考えております。最後に、任期は1年ということで、令和8年3月

様 式

	にて任期終了となり、新たな委員の委嘱を行ないます。次回の協議会をは5月頃に予定をしております。詳細の日程などが決まりましたら、各担当よりご連絡させていただきますのでよろしくお願いします。 以上を持ちまして、第3回庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会閉会します。
--	---